

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-1	5-3-1	事業名	創成川アートワーク事業				
担当	観光文化局文化部市民文化課 渡邊 211-2261							
全体計画								
事業内容	現在進められている創成川通アンダーパス連続化事業により生まれる親水緑地空間に、彫刻などのパブリックアートを設置したり、芸術的要素をランドスケープに組込むことによって、文化の薫る街づくりを進める。設置するアートワーク数(芸術的要素)については、北2条から南4条までの7ブロック中に3要素程度とし、市民が触れて遊べるものや、創成川緑地に人が集まり、散策することを促す要素になるものとする。デザイン検討委員会と連携し、アートワークについて検討する委員会を設置し、完成まで委員会が監修する。			<年度別の事業内容>				
				事業期間:平成19年度～平成22年度 事業内容 平成19年度:アートワークの基本計画の作成 平成20年度:委嘱作家による作品設計 平成21・22年度:委嘱作家による作品制作				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	アートワーク基本計画策定のため、制作を委嘱する作家の選考と作家から提案された作品内容の検討を行った。基本計画は策定中。			引続き基本計画を策定し、委嘱作家及び作品内容を確定させる。				
達成目標の状況								
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
アートワークの設置			-	設置作品の 検討	設置作品の 決定	設置作品の 制作	設置	設置
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>市民との連携、市民参加 創成川通親水緑地空間整備事業については、市民1000人のワークショップや市民懇談会にて多くの意見を参考にしており、市民が参加しながら計画が進められている。</p> <p>また、アートワーク作家の選定及び作品の監修については、専門家による外部委員会を設け議論している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力]民間奉仕団体からの寄附を受けて事業内容を充実させている。 [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり アートワーク委員会を公開で行っており、市民への情報提供に努めている。</p>								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-1-1	5-3-1	事業名	創成川アートワーク事業		
評価(成果)				課題		
アートワーク基本計画策定のため、制作を委嘱する作家の選考と作家から提案された作品内容の検討を行った。基本計画は策定中。				<ul style="list-style-type: none"> ・選考された作家とのアートワーク設置に係る諸条件の調整 ・作品の設置及び維持管理に係る経費の確保 		
今後の事業の予定・方向						
<ul style="list-style-type: none"> ・創成川通アンダーパス連続化事業に伴う親水緑地空間については平成20年度後半に実施設計を行い、同年度内に工事に着手する予定のため、それまでにランドスケープ全体との調整を行うとともに、設置作品の概要を確定する必要がある。 ・アートワーク設置後の親水緑地空間の活用方策について検討をする必要がある。 						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	5,500	7,500	22,500	22,500	58,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	11,290	11,290	22,580
	市債	0	0	7,500	7,500	15,000
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,500	7,500	3,710	3,710	20,420	
予算	事業費	5,500	5,200	-	-	10,700
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
一般財源	5,500	5,200			10,700	
実績	事業費	5,362	-	-	-	5,362
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
一般財源	5,362				5,362	
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				18.2%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						
アートワーク基本計画策定に係る経費を精査し、計画時よりも予算規模を縮小したため。						